

ラグビーワールドカップ 2019™の開催結果について

1 大会基本情報について

(1) 大会開催実績

- ア 試合開催数 45 試合 ※台風により 3 試合中止
- イ 観客動員数 合計 1,704,443 人（1 試合平均 37,877 人）
（前回大会：2,477,805 人（1 試合平均 51,621 人）※全 48 試合）
- ウ ファンゾーン 12 都市 16 会場（合計約 1,137,000 人、過去最高）
（前回大会：15 会場 合計約 1,000,000 人）
- エ 優勝国 南アフリカ（日本はプール戦全勝、ベスト 8 初進出）



盛り上がる「日本 v スコットランド戦」

(2) 横浜での試合開催実績

- ア 試合開催数 プール戦 3 試合、準決勝 2 試合、決勝の合計 6 試合（台風により 1 試合中止）
- イ 観客動員数 合計 401,742 人（1 試合平均 66,957 人、大会全体の約 23.5%）
→決勝は横浜国際総合競技場の**最多入場数（70,103 人）**。（2 位：2002FIFA W 杯決勝 69,029 人）

	日付	試合	観客数	競技場記録
1	9 月 21 日（土）	ニュージーランド v 南アフリカ	63,649 人	
2	9 月 22 日（日）	アイルランド v スコットランド	63,731 人	
	10 月 12 日（土）	イングランド v フランス	台風により中止	
3	10 月 13 日（日）	日本 v スコットランド	67,666 人	
4	10 月 26 日（土）	ニュージーランド v イングランド	68,843 人	歴代 3 位
5	10 月 27 日（日）	ウェールズ v 南アフリカ	67,750 人	
6	11 月 2 日（土）	イングランド v 南アフリカ	70,103 人	歴代 1 位
合計			401,742 人	

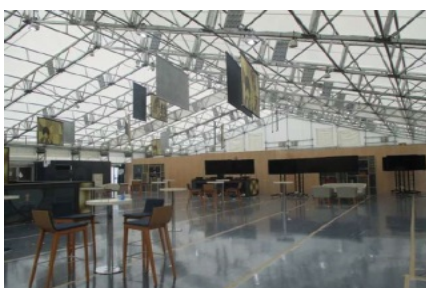
(3) チケット販売

販売可能席約 185.3 万枚のうち、約 184 万枚を販売（販売率：約 99.3%、中止の 3 試合を含む）
過去最高の販売率を記録（前回大会 98%）

2 大会運営について

(1) 仮設整備

- ア ホスピタリティ施設や、記者席・実況席の増設、コーチボックス等を仮設で整備。
- イ 大会基準の競技フィールドとするための天然芝による拡張、テレビ放映に対応するため外周トラック部分へ人工芝を敷設。



ホスピタリティ施設(TGP ラウンジ)



実況席



大会基準の競技フィールド

(2) 開催都市大会運営本部

試合開催日に競技場外での交通輸送、警備などの業務を運営する開催都市大会運営本部をセブン & アイ・ホールディングス伊藤研修センターに設置。組織委員会と連携し大会運営を実施。(体制：総務班、交通輸送警備班、ボランティア班、イベント班、ファンゾーン運営本部、医療救護班、危機管理班)

(3) 交通輸送

組織委員会や交通事業者、県警等と連携し、鉄道・バスの増便や交通規制を実施。また、ボランティアによる歩行者動線での案内誘導のほか、競技場やファンゾーンの最寄り駅へ案内デスクを設置し、観客を円滑に案内。

(4) 警備

雑踏整理、巡回警備等を実施するため、試合開始 6 時間前からラストマイル上に約 200 人の警備スタッフを配置。組織委員会及び警察と連携した一体的な警備を行い、観客等の安全を確保。

(5) ボランティア

大会期間中、約 1,500 人のボランティアが、競技場やラストマイル上での案内誘導、市内 6 か所の案内デスク・ファンゾーン内での問合せ対応や写真撮影のサポートなどを行い、観客をおもてなした。

(6) 権利保護

組織委員会との開催基本契約に基づき、試合会場の商業的表示の遮蔽作業を実施。また、関係機関と共に路上でのチケット転売・無許可販売や違反広告等の防止に向けた巡視指導を実施。

(7) 危機管理・医療救護

試合、関連イベントなど大会に関連する危機事案への迅速的確な対応を行うために危機管理体制を確立。場内外に救護所を設置(場内：4か所、場外：1か所)し、来場者及び大会関係者等の安全を確保(救護所利用者：72人、救急出場件数：16件)。



警備員による通行路確保



案内デスク



ボランティアによるおもてなし

3 ファンゾーンについて

(1) 開催概要

ア 開催日数 13日 ※10月12日及び13日は台風の影響により中止。

イ 来場者数 合計 153,700人、一日平均 11,823人

ウ マスメディア露出(11/11現在) 528件(TV28件、新聞76件、雑誌2件、WEB422件)

エ ケータリング 出店ブース34件(売上合計：133,907,701円)



臨港パークのファンゾーンには延べ15万人以上が来場。ステージコンテンツやファン同士の交流を楽しんだ。

【神奈川・横浜ファンゾーン】

	開催日	時間	入場者数	
1	9月20日(金)	17:00-22:00	8,800人	日本戦
2	9月21日(土)	12:00-21:30	16,800人	横浜開催試合
3	9月22日(日)	12:00-22:00	13,500人	横浜開催試合
4	9月28日(土)	12:00-21:30	14,400人(入場規制有)	日本戦
5	9月29日(日)	12:00-19:30	6,800人	
6	10月5日(土)	12:00-22:00	16,000人(入場規制有)	日本戦
7	10月6日(日)	12:00-19:30	6,600人	
8	10月19日(土)	12:00-22:00	6,900人	
9	10月20日(日)	12:00-22:00	16,700人(入場規制有)	日本戦
10	10月26日(土)	12:00-19:30	13,700人	横浜開催試合
11	10月27日(日)	12:00-20:30	11,100人	横浜開催試合
12	11月1日(金)	16:00-20:30	4,800人	
13	11月2日(土)	12:00-21:00	17,600人(入場規制有)	横浜開催試合
合計			153,700人	

4 大会期間中の賑わい創出等について

(1) 都心臨海部

- ア 桜木町、関内等でシティドレッシングを実施(8/20~11/2)。
- イ 桜木町駅前広場に大型モニュメント”Big Try”設置(9/19~11/2)。
- ウ 新横浜及びファンゾーンを起点とし、中華街と野毛を降車地とした都心臨海部への片道シャトルバスを運行、来訪者の周遊観光を促進。【文化観光局】
運行便数：合計100便、乗車人数：合計2,913人(定員：4,545人)



注目を集めた”Big Try”

(2) 新横浜エリア

- ア 各駅から競技場までの観客動線を中心にシティドレッシングを実施。
- イ 「花と緑にあふれる環境先進都市」横浜として、季節の花による華やかさと賑わいの創出、レインガーデンの整備、緑を活かした暑さ対策等を実施。【環境創造局】
- ウ 清掃美化、手荷物預かり、トイレ、キャッシュレスなどのサービス充実。【資源循環局・市民局】
- エ おもてなしイベントとして、「横浜ラグビーフェスタ2019」(5日開催、来場者延べ75,500人)や「こづくえマルシェ」(4日間開催、来場者延べ3,900人)を開催。【港北区役所・市民局】

(3) 公認チームキャンプ地

アイルランド代表が9月21日及び22日に関東学院大学のグラウンドで練習し、ラグビー部と交流。
※スコットランド代表は台風により練習を中止

(4) ホストシティパフォーマンス

9月21日キックオフ前に、観客の皆様へのおもてなしとして、神奈川県バトン協会及び神奈川県マーチングバンド連盟による合同演技を披露。



アイルランド代表と関東学院大学ラグビー部との交流



ホストシティパフォーマンス

(5) 子ども招待

- ア 9月21日、22日の試合に神奈川県下のジュニアラグビー選手を招待（771人 含引率者54人）。
※10月12日、13日に予定されていた福島県下のジュニアラグビー選手の招待及び交流会は、台風の影響により中止。
- イ ソシエテ・ジェネラル(RWC2019 ワールドワイドパートナー)が、9か国・地域から子供たち約100人を招待。市立仲尾台中学校の生徒たちとの文化交流や準決勝(10/26)の観戦機会を提供。

(6) パブリックビューイング

各区公会堂等でパブリックビューイングを実施。【各区役所・経済局】

	開催日	会場	対戦	来場者数	定員
1	9/20 (金)	ブランチ横浜南部市場	日本 v ロシア	270人	200人
2	9/20 (金)	栄公会堂	日本 v ロシア	142人	450人
3	9/22 (日)	金沢区役所	アイルランド v スコットランド	30人	50人
4	9/28 (土)	金沢区役所	日本 v アイルランド	50人	50人
5	10/5 (土)	港南地区センター	日本 v サモア	90人	100人
6	10/13 (日)	金沢公会堂	日本 v スコットランド	596人	596人
7	11/2 (土)【決勝】	港北公会堂	南アフリカ v イングランド	350人	500人
	合計			1,528人	

(7) 学校給食を活用した PR

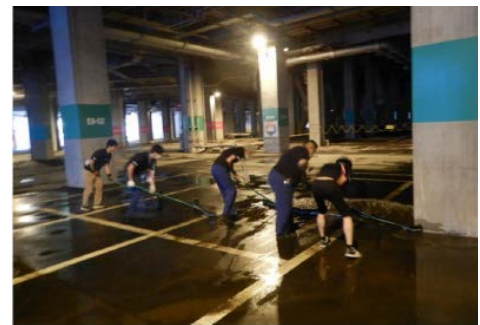
教育委員会と連携し、9月(ロシア)、10月(イギリス)と大会出場国をイメージした学校給食を提供。加えて、献立の説明にラグビーを加えた「ばくばくだよりラグビー号外」の作成・全校児童への配布やラグビー選手との交流を実施。【教育委員会・市民局】

5 開催期間中に生じた課題と対応

(1) 台風19号への対応（10月12日の試合及び10月12・13日のファンゾーンが中止）

ア 競技場及びラストマイル

公園内の浸水対策や都市装飾の飛散防止などの事前対策を実施。10月13日(日)は、早朝から場内エリア・場外観客ルートへの安全確認、遊水地内通路・駐車場の洗浄・消毒等の復旧作業を実施し、試合の開催につなげた。



台風通過後の駐車場洗浄作業

イ ファンゾーン

ファンゾーンの映像装置や大型テントを一時撤去するなど、大雨強風対策を実施。当日は情報を把握できず来場された観客に対応するため、最寄り駅や会場にスタッフを配置したことで、大きな混乱なく対応。

(2) ファンゾーン飲食物不足及び多数入場者対応

初日は想定以上の来場者数となり、一部店舗において売切れが発生したが、2日目以降は想定数量を上方修正し、追加発注を行うことで大きな混乱なく運営。また、アクティビティ設置個所の移転や適切な入場規制の運用により、事故等の発生を防止。

(3) ゴミ回収

来場者の路上での飲食に伴うゴミが、自動販売機横の空き缶入れ付近に大量に廃棄されたことから、当初の回収方法（試合当日の午前6時及び翌日の午前6時に回収）に加え、試合開催中にも回収することに対応。

(4) 道路上の滞留

一部の観戦客がラストマイル上の特定店舗や車道に滞留し、歩行者及び車の動線を阻害する事態が生じたが、警察と連携して通行路を確保するなど、事故等の発生を防止。



4年に一度じゃない。
一生に一度だ。
ONCE IN A LIFETIME



ラグビーワールドカップ2019™ 神奈川県・横浜市 大会実施報告書

横浜市

1. 大会情報

- 1. 大会概要P.03
- 2. 試合日程及びマッチリザルトP.04
- 3. 横浜国際総合競技場 試合日程及びマッチリザルトP.05

2. 競技会場の盛り上がり

- 1. 試合中の様子P.07
- 2. ラグビーワールドカップ2019仕様の競技場内の様子P.08
- 3. ホストシティパフォーマンスP.09
- 4. 子ども招待事業P.09

3. 新横浜・小机のにぎわい

- 1. シティドレッシングP.11-13
- 2. 『花と緑にあふれる環境先進都市』の取組P.13
- 3. 横浜ラグビーフェスタ2019P.14-15
- 4. こづくえマルシェP.15

4. 都心臨海部のにぎわい

- 1. シティドレッシングP.17-18

5. ファンゾーンの盛り上がり

.....P.20-23

6. ボランティアの活躍

..... P.25-26

7. 大会期間中のパブリックビューイング

.....P.28

8. 大会期間中の広報活動

- 1. 紙媒体P.30
- 2. 交通広告P.31
- 3. WEBサイト・SNSP.32
- 4. カウントダウンボード・フォトスポット・トロフィーツアーなどP.33-34

9. 公認チームキャンプ地

.....P.36

10. 開催都市の大会運営

.....P.38-39

» 1.大会情報



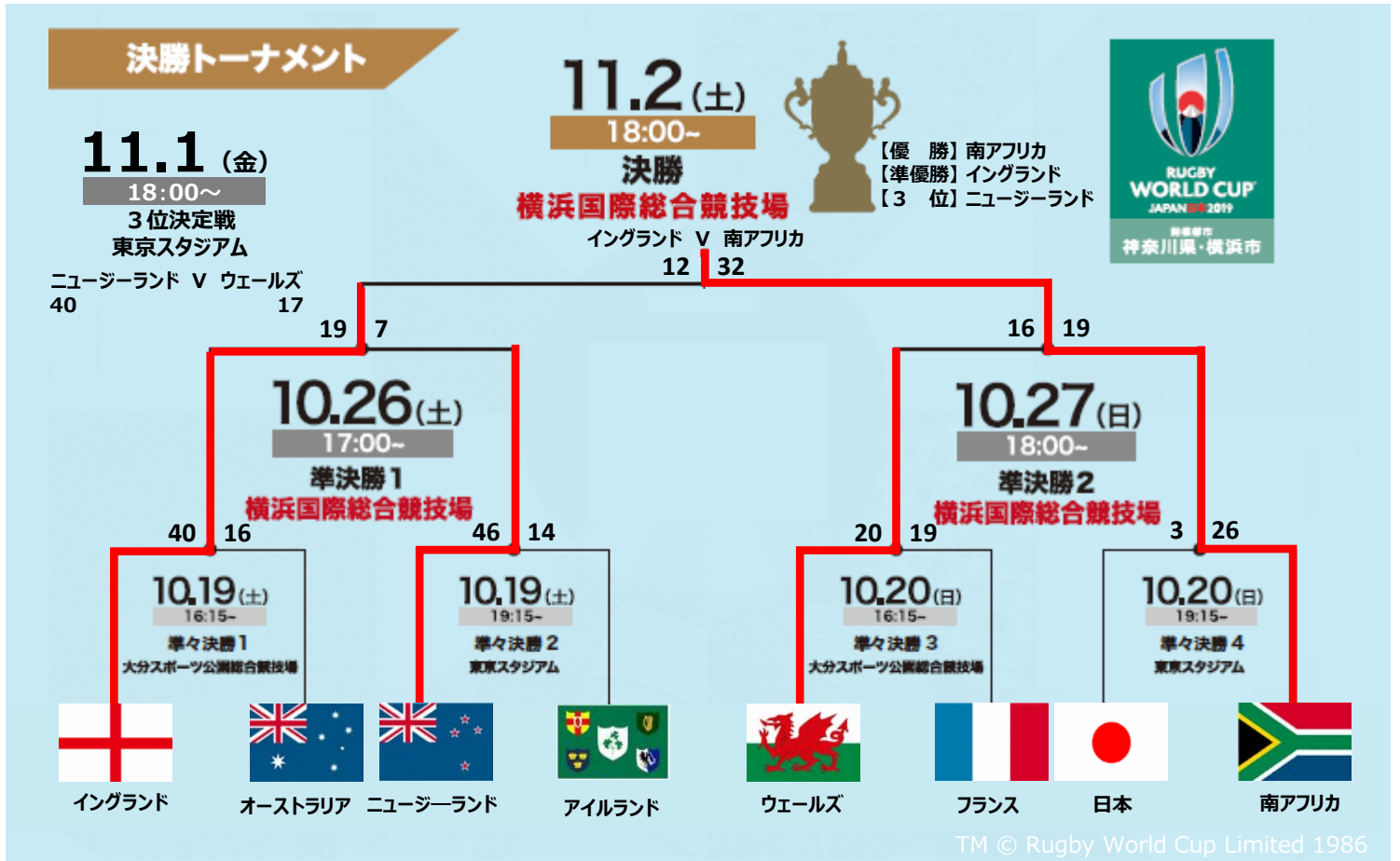
《 1.大会情報 》

1. 大会概要

■ 大会名称	ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会
■ 大会組織委員会	公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会
■ 関係組織	ワールドラグビー ラグビーワールドカップリミテッド (RWCL) 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
■ 大会日程	2019年9月20日(金)～11月2日(土)
■ 参加チーム	20チーム
■ 開催試合数	全45試合 (台風の影響により3試合中止)
■ 開催会場 (開催都市)	・札幌ドーム (札幌市) ・釜石鵜住居復興スタジアム (岩手県・釜石市) ・熊谷ラグビー場 (埼玉県・熊谷市) ・東京スタジアム (東京都) ・横浜国際総合競技場 (神奈川県・横浜市) ・小笠山総合運動公園エコパスタジアム (静岡県) ・豊田スタジアム (愛知県・豊田市) ・東大阪市花園ラグビー場 (大阪府・東大阪市) ・神戸市御崎公園球技場 (神戸市) ・東平尾公園博多の森球技場 (福岡県・福岡市) ・熊本県民総合運動公園陸上競技場 (熊本県・熊本市) ・大分スポーツ公園総合競技場 (大分県)
■ ワールドワイド パートナー	エミレーツ航空/HEINEKEN/LAND ROVER/ mastercard/ソシエテ・ジェネラル/DHL
■ オフィシャル スポンサー	キャノン/TOTO/セコム/リポビタンD(大正製薬)/三菱地所グループ/NEC / ヒト・コミュニケーションズ/大成建設
■ トーナメント サプライヤー	GILBERT/TUDOR/凸版印刷/カンタベリー/NTTドコモ/EY /新聞社 (※) /サントリー/Aggreko ※北海道新聞社、岩手日報社、読売新聞東京本社、静岡新聞社、中日新聞社、神戸新聞社、 西日本新聞社、大分合同新聞社、熊本日日新聞社

「1.大会情報」

2. 試合日程及びマッチリザルト



プールA

30	9月20日(金) 19:45	10
日本 v ロシア 東京スタジアム		
27	9月22日(日) 16:45	3
アイルランド v スコットランド 横浜国際総合競技場		
9	9月24日(火) 19:15	34
ロシア v サモア 熊谷ラグビー場		
19	9月28日(土) 16:15	12
日本 v アイルランド 小笠山総合運動公園エコパスタジアム		
34	9月30日(月) 19:15	0
スコットランド v サモア 神戸市御崎公園球技場		
35	10月3日(木) 19:15	0
アイルランド v ロシア 神戸市御崎公園球技場		
38	10月5日(土) 19:30	19
日本 v サモア 豊田スタジアム		
61	10月9日(水) 16:15	0
スコットランド v ロシア 小笠山総合運動公園エコパスタジアム		
47	10月12日(土) 19:45	5
アイルランド v サモア 東平尾公園博多の森球技場		
28	10月13日(日) 19:45	21
日本 v スコットランド 横浜国際総合競技場		

プールB

23	9月21日(土) 18:45	13
ニュージーランド v 南アフリカ 横浜国際総合競技場		
47	9月22日(日) 14:15	22
イタリア v ナミビア 東大阪市花園ラグビー場		
48	9月26日(木) 16:45	7
イタリア v カナダ 東平尾公園博多の森球技場		
57	9月28日(土) 18:45	3
南アフリカ v ナミビア 豊田スタジアム		
63	10月2日(水) 19:15	0
ニュージーランド v カナダ 大分スポーツ公園総合競技場		
49	10月4日(金) 18:45	3
南アフリカ v イタリア 小笠山総合運動公園エコパスタジアム		
71	10月6日(日) 13:45	9
ニュージーランド v ナミビア 東京スタジアム		
66	10月8日(火) 19:15	7
南アフリカ v カナダ 神戸市御崎公園球技場		
※	10月12日(土) 13:45	※
ニュージーランド v イタリア 豊田スタジアム		
※	10月13日(日) 12:15	※
ナミビア v カナダ 釜石鶴住居復興スタジアム		

プールC

23	9月21日(土) 16:15	21
フランス v アルゼンチン 東京スタジアム		
35	9月22日(日) 19:15	3
イングランド v トンガ 札幌ドーム		
45	9月26日(木) 19:45	7
イングランド v アメリカ 神戸市御崎公園球技場		
28	9月28日(土) 13:45	12
アルゼンチン v トンガ 東大阪市花園ラグビー場		
33	10月2日(水) 16:45	9
フランス v アメリカ 東平尾公園博多の森球技場		
39	10月5日(土) 17:00	10
イングランド v アルゼンチン 東京スタジアム		
23	10月6日(日) 16:45	21
フランス v トンガ 熊本県民総合運動公園陸上競技場		
47	10月9日(水) 13:45	17
アルゼンチン v アメリカ 熊谷ラグビー場		
※	10月12日(土) 17:15	※
イングランド v フランス 横浜国際総合競技場		
19	10月13日(日) 14:45	31
アメリカ v トンガ 東大阪市花園ラグビー場		

プールD

39	9月21日(土) 13:45	21
オーストラリア v フィジー 札幌ドーム		
43	9月23日(月・祝) 19:15	14
ウェールズ v ジョージア 豊田スタジアム		
27	9月25日(水) 14:15	30
フィジー v ウルグアイ 釜石鶴住居復興スタジアム		
33	9月29日(日) 14:15	7
ジョージア v ウルグアイ 熊谷ラグビー場		
25	9月29日(日) 16:45	29
オーストラリア v ウェールズ 東京スタジアム		
10	10月3日(木) 14:15	45
ジョージア v フィジー 東大阪市花園ラグビー場		
45	10月5日(土) 14:15	10
オーストラリア v ウルグアイ 大分スポーツ公園総合競技場		
29	10月9日(水) 18:45	17
ウェールズ v フィジー 大分スポーツ公園総合競技場		
27	10月11日(金) 19:15	8
オーストラリア v ジョージア 小笠山総合運動公園エコパスタジアム		
35	10月13日(日) 17:15	13
ウェールズ v ウルグアイ 熊本県民総合運動公園陸上競技場		

※台風の影響により中止

「1.大会情報」

3. 横浜国際総合競技場 試合日程及びマッチリザルト

No	日程	試合開始時間	プール	対戦	観客動員数
1	9月21日(土)	18:45	B	ニュージーランド v 南アフリカ	63,649人
				23 - 13	
2	9月22日(日)	16:45	A	アイルランド v スコットランド	63,731人
				27 - 3	
3	10月12日(土)	17:15	C	イングランド v フランス	-
				台風のため中止	
4	10月13日(日)	19:45	A	日本 v スコットランド	67,666人
				28 - 21	
5	10月26日(土)	17:00	準決勝1	イングランド v ニュージーランド	68,843人
				19 - 7	
6	10月27日(日)	18:00	準決勝2	ウェールズ v 南アフリカ	67,750人
				16 - 19	
7	11月 2日(土)	18:00	決勝	イングランド v 南アフリカ	70,103人※1
				12 - 32	
合計					401,742人※2

※1 横浜国際総合競技場で開催された競技で観客動員数歴代1位を獲得

※2 全国12会場延べ1,704,443人中、約23.5%を占める。

10月13日(日) 日本 V スコットランド



10月13日(日) 日本 V スコットランド



» 2. 競技会場の盛り上がり



《2. 競技会場の盛り上がり》

1. 試合中の様子

11月2日（土） イングランド V 南アフリカ



10月26日（土） イングランド V ニュージーランド



観戦客の盛り上がり



「2.競技会場の盛り上がり」

2.ラグビーワールドカップ2019仕様の競技場内の様子

競技場内のドレスイング



ワールドラグビー ビル・ボームト会長より知事・市長へ記念品贈呈



ハイネケンバー (東ゲート広場)



ハイブリッド芝



パブリックビューイング (東ゲート広場)



「2.競技会場の盛り上がり」

3.ホストシティパフォーマンス

概要

観客の皆様へのおもてなしと開催都市の魅力を伝えることを目的に、キックオフの前に行われたパフォーマンスです。神奈川・横浜では、9月21日（土）の横浜での試合初日（16:55～17:15）に神奈川県バトン協会及び神奈川県マーチングバンド連盟による合同演技を披露しました。

神奈川県バトン協会



神奈川県マーチングバンド連盟



4.子ども招待事業

概要

- 1 9月21日（土）、22日（日）の試合（プール戦）に神奈川県内のジュニアラグビー選手を招待しました。
 - 2 ソシエテ・ジェネラル(RWC2019ワールドワイドパートナー)が、10月23日（水）～27日（日）の日程で、9か国・地域から子どもたち約100人を横浜に招待しました。
- 横浜市立仲尾台中学校の生徒たちと、ジョニー・ウィルキンソン氏、廣瀬俊朗氏、五郎丸歩選手らレジェンドも参加してラグビー交流、文化交流を行い、10月26日（土）の準決勝を観戦しました。

ジュニアラグビー選手の試合観戦



ソシエテ・ジェネラル ラグビー・スピリット・フェスティバル

ウェブ・エリス・カップ、
レジェンドとの記念撮影



書道体験



» 3.新横浜・小机のにぎわい



《 3 .新横浜・小机のにぎわい》

1 .シティドレッシング

1 概要

大会期間にあわせて、横浜国際総合競技場周辺でバナー等によりシティドレッシング（都市装飾）を行い、街全体でラグビーワールドカップ2019を盛り上げ、観戦客をおもてなしました。

2 掲出場所

新横浜駅交通広場、新横浜・小机エリア、市営地下鉄北新横浜駅周辺

新横浜駅交通広場



決勝戦特別装飾



《 3 .新横浜・小机のにぎわい》

新横浜駅ペDESTリアンデッキ 階段装飾



新横浜駅～横浜国際総合競技場 マンホール



新横浜駅ペDESTリアンデッキ カウントダウンボード



新横浜駅ペDESTリアンデッキ スイングバナー等



《 3.新横浜・小机のにぎわい》

小机駅構内(大型看板等)



小机駅～横浜国際総合競技場(壁面装飾、電柱装飾等)



2.『花と緑にあふれる環境先進都市』の取組

概要

様々な花と緑での彩りや、緑陰とミストによるアーチの設置、大会仕様のデザインマンホールの設置などで、華やかさや賑わいを演出し、来街者をお出迎えしました。

フラワータワー



コンテナ花壇



レンガ花壇



ハンギングバスケット



《 3.新横浜・小机のにぎわい》

3.横浜ラグビーフェスタ2019

1 概要

国内外から試合観戦に訪れる観戦客に対し、試合前に最寄駅の一つである新横浜駅前の特設会場で、観戦客をおもてなしするためのイベントを実施しました。

2 日時・場所・来場者数

日時	9/21± 11-1845	9/22日 11-1645	10/12±	10/13日	10/26± 11-17	10/27日 11-18	11/2± 11-18
来場者数	約8,000人	約7,500人	※台風により中止	※台風により中止	約2万人	約2万人	約2万人
場所	新横浜駅北口西広場						

3 イベント内容

- (1) 日本文化体験ブース
- (2) ラグビー縁日 (ラグビーボールすくい、ラグビー射的、ラグビーボウリング)
- (3) ステージイベント
スクラムユニゾン (国歌・アンセム斉唱によるおもてなしの取組)、若手書家による揮毫パフォーマンス 等
- (4) 横浜市PRブース

イベント会場の様子

書道体験



剣道体験



重ね押しスタンプ「神奈川冲浪裏」によるポストカード作り体験



ラグビー縁日 (コーナー全景)



ラグビー縁日 (ラグビーボウリング)



決勝トーナメント特別仕様

泉区新橋小学校による国際交流授業



保土ヶ谷区富士見台小学校作成の応援ボード



《 3 .新横浜・小机のにぎわい》

スクラムユニゾン（大会参加国の国歌・アンセムを歌って、おもてなしするプロジェクト）

ラグビーワールドカップ2019日本大会のおもてなしを象徴するムーブメントとして全国に広がり、横浜市でも、試合ごとの歌詞カードを作成・配布しました。試合当日はイベント来場者と共に、対戦国の国歌・アンセムを合唱しました。

スクラムユニゾン発起人の一人、村田匠さんによる歌唱指導



歌詞カード（決勝戦版）



4.こづくえマルシェ

1 概要

横浜国際総合競技場でのラグビーワールドカップ2019の開催により、小机駅周辺に多くのお客様が来訪する機会をとらえ、区民をはじめたくさんの方が集まることのできる場としてマルシェ（市場）を開催しました。

2 日時・場所・来場者数

日時	9/21± 10-15	9/22日 10-14	10/12 ±	10/13日	10/26± 10-14	10/27日 10-15	11/2±
来場者数	約900人	約800人	※台風により中止	※台風により中止	約1,000人	約1,200人	※開催なし
場所	小机駅周辺特設会場（北口から徒歩1分）						



3 イベント概要

- (1) 地元野菜物販エリア（地元で採れた野菜や地域作業所で作られたお菓子販売）
- (2) キッチンカーエリア（世界の飲食物が楽しめるキッチンカーが集合）
- (3) フォトスポット（出場国の旗と共に記念撮影）



» 4.都心臨海部のにぎわい



「4. 都心臨海部のにぎわい」

1. シティドレッシング

- 1 概要
MM21地区や市庁舎周辺など都心臨海部でシティドレッシングを行い、街中で祝祭感を表現しました。
- 2 掲出場所
JR桜木町駅周辺、山下公園周辺、JR関内駅周辺、JR横浜駅周辺



大型モニュメント“Big Try”



横浜を訪れる国内外の方に写真を撮っていただき、世界中に横浜の魅力の拡散していただくことを目的に、巨大ラグーマンがトライを決めている大迫力のモニュメント“Big Try”を設置しました。SNSでも大きな反響があり、今大会を象徴するフオトスポットとなりました。

【サイズ】

巨大ラグーマン：身長約9m（手の先から足の先まで）

ゴールポスト：約7.5m

みなとみらい周辺装飾

クロスゲート 大懸垂幕



ランドマークタワー 大懸垂幕



クイーンモール バナーフラッグ



横浜駅周辺装飾

横浜駅中央西口駅前広場整備工事の仮囲いを活用した装飾



クイーンズ伊勢丹横浜店入り口や壁面装飾



「4. 都心臨海部のにぎわい」

市・県庁舎周辺装飾

市庁舎前カウントダウンボード
(開幕戦及び決勝戦まで)



県庁舎 階段装飾



山下公園周辺装飾

マリンタワーの改修に合わせた「キャノンラグビーウォールギャラリー」及び特別ライトアップ



山下公園通り、日本大通り（県庁前）、開港広場公園街灯バナーフラッグ



» 5.ファンゾーンの盛り上がり



「5.ファンゾーンの盛り上がり」

1 概要

ファンゾーンはラグビーワールドカップ2019大会期間中に開催都市に設置され、大型ビジョンによる試合映像の放映（パブリックビューイング）、ステージイベント、ケータリング（飲食物販売）、ラグビー普及啓発活動等が行われ、誰でも気軽に集い、楽しみ、交流できる大会公式イベントスペースです。

神奈川・横浜ファンゾーンは海に面した開放的なロケーションである臨港パークで、12開催都市最大面積（4万㎡超）かつ、12開催都市最大級の380インチ（縦4.8m×横8.4m）大型ビジョンを設置し、臨場感あふれるラグビーの試合を中継することで、多くの来場者にラグビーワールドカップの興奮と感動をお届けしました。

2 開催場所

臨港パーク（神奈川県横浜市西区みなとみらい一丁目）

開催日及び入場者数

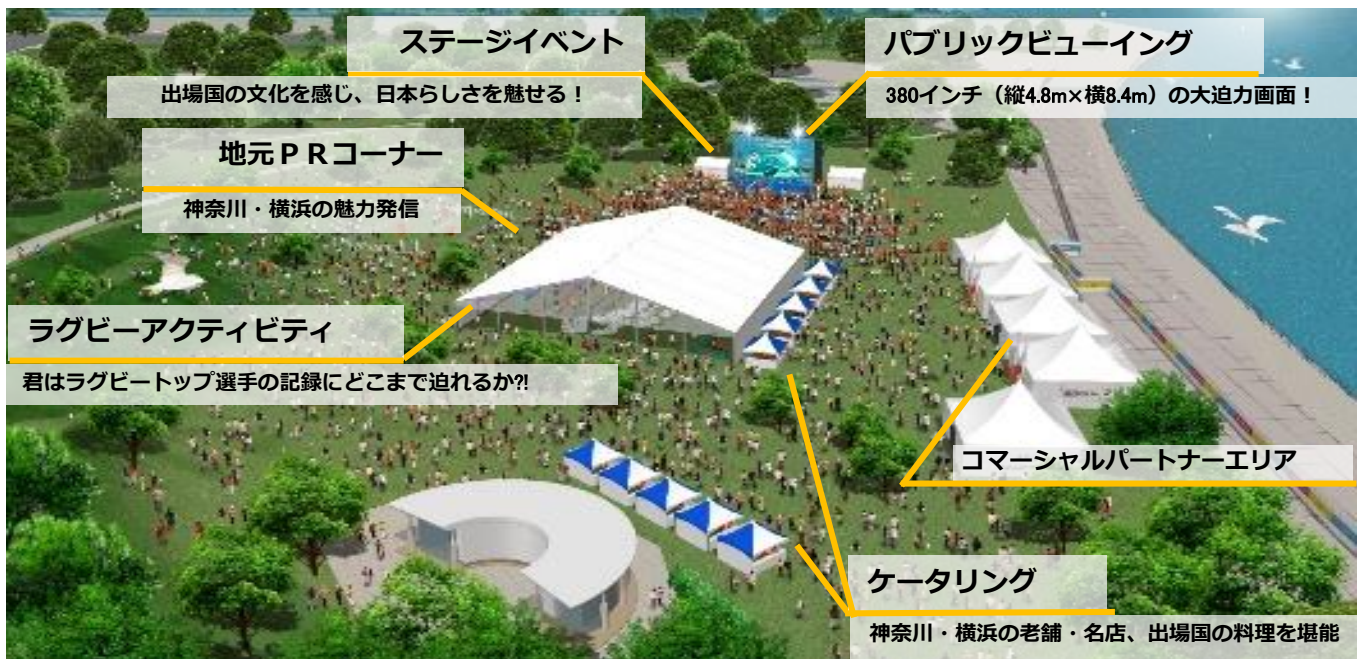
13日間 延べ**153,700人**

（1日平均約12,000人、最大入場者数は決勝戦（11/2）の17,600人）

※1日平均入場者数は、12開催都市16ファンゾーンで最多となりました。

No,	開催日	入場者数	主な試合	No,	開催日	入場者数	主な試合
1	9月20日（金）	8,800人	開幕・日本代表戦（vロシア）	9	10月13日（日）		台風のため中止
2	9月21日（土）	16,800人	横浜開催（ニュージーランドv南アフリカ）	10	10月19日（土）	6,900人	準々決勝（イングランドvオーストラリア） 準々決勝（ニュージーランドvアイルランド）
3	9月22日（日）	13,500人	横浜開催（アイルランドvスコットランド）	11	10月20日（日）	16,700人	準々決勝（ウェールズvフランス） 準々決勝（日本v南アフリカ）
4	9月28日（土）	14,400人	日本代表戦（vアイルランド）	12	10月26日（土）	13,700人	準決勝・横浜開催（イングランドvニュージーランド）
5	9月29日（日）	6,800人		13	10月27日（日）	11,100人	準決勝・横浜開催（ウェールズv南アフリカ）
6	10月5日（土）	16,000人	日本代表戦（vサモア）	14	11月1日（金）	4,800人	3位決定戦（ニュージーランドvウェールズ）
7	10月6日（日）	6,600人		15	11月2日（土）	17,600人	決勝・横浜開催（イングランドv南アフリカ）
8	10月12日（土）		台風のため中止		合計	153,700人 （16会場約1,137,000人中、約13.5%）	

ファンゾーン全体図



「5.ファンゾーンの盛り上がり」

パブリックビューイング

日程	放映試合
9月20日(金)	日本 v ロシア
9月21日(土)	オーストラリア v フィジー
	フランス v アルゼンチン
	ニュージーランド v 南アフリカ
9月22日(日)	イタリア v ナミビア
	アイルランド v スコットランド
	イングランド v トンガ
9月28日(土)	アルゼンチン v トンガ
	日本 v アイルランド
	南アフリカ v ナミビア
9月29日(日)	ジョージア v ウルグアイ
	オーストラリア v ウェールズ
	オーストラリア v ウルグアイ
10月5日(土)	イングランド v アルゼンチン
	日本 v サモア
10月6日(日)	ニュージーランド v ナミビア
	フランス v トンガ
10月19日(土)	準々決勝1 (イングランド v オーストラリア)
	準々決勝2 (ニュージーランド v アイルランド)
10月20日(日)	準々決勝3 (ウェールズ v フランス)
	準々決勝4 (日本 v 南アフリカ)
10月26日(土)	準決勝1 (イングランド v ニュージーランド)
10月27日(日)	準決勝2 (ウェールズ v 南アフリカ)
11月1日(金)	3位決定戦 (ニュージーランド v ウェールズ)
11月2日(土)	決勝 (イングランド v 南アフリカ)

試合を楽しむ観客



開催都市最大級の380インチ大型ビジョン
(縦4.8m×横8.4m)



ステージイベント

ラグビーワールドカップ2019出場国の文化パフォーマンス



「5.ファンゾーンの盛り上がり」

ケータリング

【テーマ】

ア 神奈川・横浜を代表する料理・店舗

(荒井屋、ありあけ、泉平、梅や、勝烈庵、崎陽軒、中華街発展会、馬車道十番館、ポンパドウル他)

イ 神奈川・横浜産の食材を用いた料理

(横浜中央卸売市場、高座豚手造りハム他)

ウ ラグビーワールドカップ2019出場国の料理

(フィッシュアンドチップス、ホットドッグ他)



地元PRイベント



ラグビーアクティビティー



ラグビーの一連のプレーをゲーム感覚で楽しみ、ラグビーのトップ選手たちに挑戦できる「アスリートチャレンジ」や、ラグビー体験ができる大型エア遊具、誰でも気軽に楽しめるラグビー体験コーナーを設置

《5.ファンゾーンの盛り上がり》

コマーシャルパートナーエリア



会場内の様子



» 6. ボランティアの活躍



《6.ボランティアの活躍》

1 概要

ラグビーワールドカップ2019では、全国で約13,000人、神奈川県・横浜市では約1,500人のボランティアを「TEAM NO-SIDE（チームノーサイド）」の一員として採用し、国内外から横浜へ訪れる観客の皆様をおもてなしする大会の顔として活動していただきました。

2 活動内容

- (1) 競技場内やファンゾーンでの運営補助
- (2) 競技場やファンゾーンへの案内誘導
- (3) 警備スタッフや駅スタッフの語学対応補助
- (4) 最寄り駅構内における案内デスクの運営
- (5) フォトフレームを利用した写真撮影、ラストマイル上のゴミ拾い等のおもてなし

ボランティア研修



観客へのおもてなし



《6.ボランティアの活躍》

案内誘導



案内デスク



横浜市内に設置した観客及びファンゾーン来場者向け案内デスク（新横浜駅、小机駅、横浜駅、横浜そごう前、みなとみらい駅、桜木町駅）

» 7.大会期間中の パブリックビューイング



《 7.大会期間中のパブリックビューイング》

1 神奈川県域

【9/20 ブランチ横浜南部市場】

	日程	会場	対戦	来場者数
1	9月20日(金)	海老名駅駅間芝生広場	日本 v ロシア	1,200人
2	9月21日(土)	ハルネ小田原うめまる広場	オーストラリア v フィジー	150人
3	9月28日(土)	藤沢市民会館小ホール	日本 v アイルランド	465人
4	9月29日(日)	ハルネ小田原うめまる広場	オーストラリア v ウェールズ	180人
5	10月5日(土)	小田急ホテルセンチュリー相模大野	日本 v サモア	1,000人
6	10月13日(日)	ラゾーナ川崎プラザ	日本 v スコットランド	※台風のため中止
7	10月19日(土)	ハルネ小田原うめまる広場	オーストラリア v イングランド 【準々決勝】	180人
8	10月20日(日)	レンプラントホテル厚木	日本 v 南アフリカ 【準々決勝】	400人
9	11月2日(土)	ラゾーナ川崎プラザ	南アフリカ v イングランド 【決勝】	2,100人



2 横浜市域

【9/28 藤沢市民会館】

	日程	会場	対戦	来場者数
1	9月20日(金)	ブランチ横浜南部市場	日本 v ロシア	270人
2	9月20日(金)	栄公会堂	日本 v ロシア	142人
3	9月22日(日)	金沢区役所 (会議室)	アイルランド v スコットランド	30人
4	9月28日(土)	金沢区役所 (会議室)	日本 v アイルランド	50人
5	10月5日(土)	港南地区センター	日本 v サモア	90人
6	10月13日(日)	金沢公会堂	日本 v スコットランド	596人
7	11月2日(土)	港北公会堂	南アフリカ v イングランド 【決勝】	350人



【10/13 金沢公会堂】



【10/19 ハルネ小田原うめまる広場】



【11/2 ラゾーナ川崎プラザ】



【11/2 港北公会堂】



» 8.大会期間中の広報活動



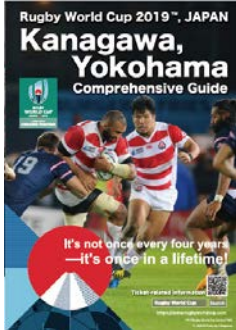
「8.大会期間中の広報活動」

1.紙媒体

ラグビーワールドカップ2019™ 神奈川・横浜 まるわかりガイド



横浜で行われる試合解説、ラグビーのルール説明、ファンゾーンのPR、観光情報、横浜とラグビーの歴史等を掲載（約11万部発行）



日本語版（表紙） 英語版（表紙）

広報よこはま



県のたより



SPORTSよこはま



こどもタウンニュース



市立小学校に通う小学生に全員配布

横浜ラグビーWalker



英国ラグビー雑誌「Rugby World」付録誌



英国のラグビー雑誌9月号の付録に横浜観光情報を掲載し、WEBでも展開

JAPAN TIMES 季刊誌「The Best of Japan」



TIME OUT TOKYO 10月号



横浜市と株式会社KADOKAWAで締結している連携協定の取組の一環として発行。横浜とラグビーの特集やルール、観光、フотスポット情報等を掲載（3万部発行）

国内で配布される観光案内媒体にPRを掲載

「 8 .大会期間中の広報活動」

2.交通広告

横浜市営地下鉄

アドトレイン（1両編成の広告（中吊り・窓上・ドア横・動画）をジャック）



グランボード（横浜駅）

今大会の写真を使って決勝前に掲出



ホームドア広告・規定看板

（新横浜駅・桜木町駅）・（新横浜駅）



横浜市営バス（フルラッピングバス）



パートラッピングバス

横浜シーサイドライン



みなとみらい駅



大船駅



湘南モルレル



「8.大会期間中の広報活動」

3.WEBサイト・SNS

WEBサイト『横浜ラグビー情報』 (<https://rugby.city.yokohama.lg.jp/>)

WEBサイト「横浜ラグビー情報」で、横浜でのラグビーワールドカップ2019開催情報やファンゾーン情報を分かりやすく掲載しました。海外からの観客に向け、英語ページを作成したほか、観光情報へのリンクを貼り、市内・県内の周遊を促進しました。

大会期間中は、1日平均3万PV／累計265万PV（当初目標25万PV）に達するなど、多くの方にご覧いただくことができました。台風情報やイベント情報等について、タイムリーに発信した結果、円滑に大会を運営することができました。また、ファンゾーン情報やスタジアムまでのアクセス情報のほか、ラグビーのルールや各代表チーム紹介等、ライト層に向けて発信した記事へのアクセスが多く、ラグビーワールドカップ2019をきっかけに、新たにラグビーファンになった方にもご覧いただくことができました。



トップページ



ファンゾーンページ

SNSの運用

ファンゾーンやおもてなしイベントの開催状況、街の盛りりの様子、観光おすすめ情報等をSNSを活用してタイムリーに発信し、情報の拡散を図りました。大会当日は、早期来場のお願いやスタジアムのアクセス等を日本語・英語で発信しました。組織委員会のSNSとも連携し、相互にリツイート等を行うことにより、観客等に広く情報が届くようになりました。



Twitter

YOKOHAMA・KANAGAWA RUGBY NEWS @RugbyYokohama · 11月2日
今夜の#横浜国際総合競技場の熱気は、過去最高のものとなっています。それもそのはず、本日は今大会・横浜国際総合競技場の競技開催時の歴代1位となる70,103人の方にご来場いただきました。たくさんのご来場ありがとうございました。
#RWC2019 #RWC横浜 #ENGvRSA #RWCfinal



209 461



Facebook

Yokohamarugbynews
WordPressさんの投稿
11月1日 9:52
#RWC横浜 ファンゾーン情報
11/1(金)ファンゾーン in 神奈川・横浜は16時から開催します。最終入場時刻は19時40分を予定しています。本日はラグビーアクティビティの実施はございません。また、状況に応じて、入場規制を行う可能性がございますので、ご了承ください。
#RWC2019 #YokohamaFanzone
<https://rugby.city.yokohama.lg.jp/fznews/2019-11-01/>



RUGBY.CITY.YOKOHAMA.LG.JP
ファンゾーン
11月1日(金) ファンゾーン in 神奈川・横浜は16時から...



Instagram



yokohamarugbynews
nirarebitame_3さん他が「いいね！」しました
yokohamaninhnews #RWC横浜 #ファンゾーン

「 8 .大会期間中の広報活動」

4 .カウントダウンボード・フォトスポット・トロフィーツアーなど

カウントダウンボード（全9か所）



新横浜駅前



海老名駅前

PR動画

2015年大会の映像を中心としたPR動画を作成し、商業施設サインージ等で放映しました。また、YouTubeでも公開しました。



フォトスポット

みなとみらい地区の4か所にみなとみらいの商業施設等と協力し、フォトスポットを設置しました。



← ↓ クイーンズスクエア



原鉄道模型博物館



CIAL桜木町



コレットマーレ

大さん橋フォトスポット

大さん橋客船ターミナル内のデジタルサインージを活用したオリジナルデジタルフォトフレーム



「 8 .大会期間中の広報活動」

学校給食との連携（ぱくぱくだより号外配布等）

ラグビーワールドカップ2019参加国の食文化を取り入れた学校給食の市内小学校への提供と、献立の説明にラグビーを加えた「ぱくぱくだよりラグビー号外」を作成・配布しました。また、提供日初日の9月13日には、市内小学校（四季の森小学校）に現役ラグビー選手（キャノンイーグルス）が訪問し、児童と一緒に給食を食べるとともに、ラグビー交流を実施しました。



ロシアをイメージした給食



現役選手と給食交流



市内小学校全児童へ配布

トロフィーツアー



ニュージーランド代表ハンセンヘッドコーチ 知事表敬訪問（県庁）



県内市町村PR展示活動 （川崎市ほか26市町村）



» 9.公認チームキャンプ地



《9.公認チームキャンプ地》

1 概要

公認チームキャンプ地では、大会期間中にチームが練習及び調整を行いました。

2 滞在チーム、期間、場所

	滞在チーム	滞在期間	場所
小田原市	オーストラリア代表	9月10日～18日、 10月12日～16日	城山陸上競技場（練習グラウンド）、※事前キャンプ ヒルトン小田原リゾート（ジムその他）を含む。
海老名市	ロシア代表	9月25日～10月1日	海老名運動公園（練習グラウンド・ジムその他）
横浜市	アイルランド代表	9月18日～23日	関東学院大学金沢文庫キャンパスサブグラウンド （練習グラウンド・ジム（仮設）） 横浜市立大学総合体育館（屋内練習場・プール）
	スコットランド代表	10月11日～14日	

オーストラリア代表歓迎セレモニー（9月12日）



ロシア代表地域交流イベント（9月28日）



ロシア代表観戦バスツアー（10月9日）



関東学院大学金沢文庫キャンパスに設置した仮設ジム



アイルランド代表と関東学院大学ラグビー部との交流（9月21日）



» 10.開催都市の大会運営



「10.開催都市の大会運営」

1 概要

開催都市の役割である競技場外での交通輸送、警備、医療などの業務を統括する、開催都市大会運営本部を設置し、組織委員会や関係機関と連携し、大会運営を実施しました。

2 設置場所

セブン&アイ・ホールディングス伊藤研修センター（港北区新横浜 2-19-1）

3 班体制

総務班、交通輸送警備班、ボランティア班、イベント班、ファンゾーン運営本部（臨港パーク）、医療救護班、危機管理班

本部運営の様子



ラストマイルでの活動の様子



ラストマイルの監視時には、競技場周辺に設置した監視カメラや警備員のウェアラブルカメラのライブ映像を活用



警備スタッフによる観客の案内誘導、
ゲート前の待機列整理



《10.開催都市の大会運営》

危機管理・医療救護

市大会現地警戒本部・消防特別警備現地本部・医療救護本部（競技場317会議室）



危機管理班

医療救護班



街の美化活動



喫煙マナー啓発活動



ボランティアによる清掃活動



仮設トイレの設置





【作成】

神奈川県スポーツ局スポーツ課

横浜市市民局ラグビーワールドカップ2019推進課

令和元年11月15日作成